



日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部 活動報告

発行人：外山 学
事務局 〒550-0002 大阪府大阪市西区
江戸堀1丁目22-38 三洋ビル4F
あゆみコーポレーション内
Tel. 06-6441-4918 Fax. 06-6441-2055
E-mail jpca@a-youme.jp
HP square.umin.ac.jp/pc-kinki/

ニュースレター No. 3 (2013. 6)

万葉衆（奈良家庭医療研究会） 報告（2月17日）

朝倉 健太郎（健生会 大福診療所／奈良県桜井市）

万葉衆は、奈良家庭医療研究会として2008年より活動を続けています。当時、学会などで顔を合わせるジェネラリスト志向の奈良の仲間が増えつつも、東京や名古屋などご当地奈良の他で飲み会をしながら、「なぜわざわざここで飲んでいるのか？もっと近くで集まれないか？」と、こじんまりとした勉強会をスタートさせたのがそのはじまりです。徐々に広がりを見せ、現在では国保診療所、開業医、民医連の中小病院/診療所、市立病院、奈良県立医科大学、天理よろづ相談所病院など幅広いセッティングから、学生、初期研修医、後期研修医、中堅医師、ベテラン医師たちが、立場を越えて集う学びの場となっています。普段の万葉衆はそれぞれの機関が持ち回りで開催されますが、10名前後の医師が集まります。参加者のほぼ全員が15～20分程度のプレゼンテーションを自由に行い、議論を盛り上げます。そして後半戦はさらに熱くなる飲み会でそれぞれのモチベーションを高めます！



今回は、奈良県立医科大学に総勢29名が集いました。「総合診療医のやりがい」をテーマとして10名がそれぞれの思いをプレゼンテーション、ゲストの福井県名田庄診療所の中村伸一先生とともに熱く語り合いました。「立場を越えた人たちが集まっているのが面白かった」「中堅やベテランのやりがいを聞いたのが参考になりました」といった感想が挙げられ、大変盛り上がった1日でした！次回は6月23日予定です。

第27回近畿地方会 「地域で絆(つな)ぐ生命(いのち)と健康なくらし」

- ・会期と会場：9月8日(日) 兵庫医療大学(神戸市中央区港島1丁目3番6)
- ・主催：兵庫医科大学医師会・兵庫県プライマリ・ケア協議会
- ・ウェブサイト：<http://primarycare-kinki.info/27/> (チラシ、参加申込書のダウンロード)

近畿ブロック支部(KPCA: Kinki Primary Care Association)について

近畿ブロック(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県)に所属する学会会員で構成され、ブロック代議員会を最高議決機関としています。ブロック支部会費は必要ありません。日常的な運営は幹事会が行っています。

- ・支部長：外山学(学会理事)
- ・副支部長：雨森正記(学会理事)、大島民旗(学会理事)、戸田和夫
- ・幹事：朝倉健太郎、足立光平、梶山泰男、木戸友幸、小泉俊三、空地頭一、高木幸夫、武田以知郎、羽野卓三、福原俊一、松村理司、水野融、三ツ浪健一
- ・監事：大島久明、澤木政光



第5回 近畿家庭医療学後期研修医ポートフォリオ発表会 報告 (3月9日)

高木 幸夫 (関西ポートフォリオ発表会実行委員会・京都家庭医療学センター)

大阪市立大学医学部 (阿倍野キャンパス) に於いて、関西圏の家庭医療学後期研修プログラムで学ぶ後期研修医師のポートフォリオ発表会が開催されました。今年で第5回目となり、今回は、8つの後期研修プログラムから10名の後期研修医がエントリーしました。

旧家庭医療学会の後期研修プログラム Ver.1 の「研修目標」の項目から、後期研修1、2年目の医師は『患者中心・家族志向の医療を提供する能力』もしくは『すべての医師が備える能力』から、3年目の医師は『包括的で継続的、かつ効率的な医療を提供する能力』『地域・コミュニティをケアする能力』から領域を1つ選び、パワーポイント形式で発表しました。

発表するテーマも年々多様化しており、「行動変容」「複雑で困難な事例」「患者-医師関係」「医師自身の陰性感情の振り返り」など日頃の真剣な研修が反映されていました。参加者からの質疑応答も活発に行われ、指導医も含めて貴重な学びの場となりました。

感想では「自分自身の学びを深める場となった」「ポートフォリオの具体的事例がわかった」「研修プログラムを超えた交流ができた」「No blame culture で自由に意見交換できる雰囲気があった」などが発表されていました。

終了後、すでに第6回に向けての実行委員会が後期研修医主導で始まっています。アット・ホームな雰囲気に関西一円の研修医が発表し、高めあえる会を目指していますので、乞うご期待。次回も2014年3月頃の開催を予定していますので、多くの参加をお願いします。



第15回 プライマリ・ケアスタッフのための家族アプローチワークショップ 報告 (3月24日)

竹中 裕昭 (竹中医院/大阪府大阪市)

プライマリ・ケアにおける家族へのアプローチ法は、家族療法の概念をほぼそのまま導入しているために、必ずしもプライマリ・ケアスタッフ (以下、PCスタッフ) にとって使い勝手のよいものになっていない。このワークショップは、PCスタッフが日常臨床においてどのように家族にアプローチすればよいのかを、1日かけて皆で体験しながら考えようというワークショップである。

家族面接ロールプレイ、紐を家族のきずなに見立て、家族力動を体感してもらう家族システム論実習 (写真) に加え、今回は、家族面接を行わなくてもできる家族アプローチに力を入れた。例えば「〇〇さんがここにいればどう言われるでしょう?」「××さんならどうされるでしょう?」というような関係性の質問を用いることで、家族がその場になくても患者を通した一種の擬似家族面接が可能となること、その効果として、小石を水面へ投げた際、“さざ波”が広がっていくように、患者の変化が、やがて家族全体の変化へと広がっていく “さざなみ効果”を生む可能性があることを皆で確認した。

このように、参加者の協力を得ながら充実させてきたワークショップであるが、その内容は、まだ発展途上である。特に今回、薬剤師の参加者を通して、医師、看護師とは異なる、薬剤師向けのアプローチ法の可能性を見出した。次回以降も、PCスタッフの日常臨床により役立つ方法を求めて開催していきたい。



近畿ブロック所属理事活動報告（1）

外山 学（益田診療所／大阪府門真市）

支部活性化・会員増強委員会で活動しています。前々回（昨年12月）のニュースレターでは、各ブロック支部の支部会員向け配布物を、学会誌に同封するしくみを作ったことを報告させていただきましたが、その後さらにスケールアップしました。3月号からは、全てのブロック支部がニュースレターもしくは報告書を発行し、全会員に届けられることとなりました。すなわち、近畿ブロック支部の活動が学会誌とともに記録に残り、全国の学会員にお伝えできると同時に、他のブロック支部の活動も知ることができるようになりました。他地区の活動もヒントやお手本にして、新しいブロック支部活動を創っていきたく存じます。積極的なご提案をよろしくお願いいたします。

又、サポーターを含めた多職種による都道府県単位の活動の確立が、国が進める医療計画や地域包括ケアへの対応の観点からも、急務になっています。理想は、市区町村レベルでの活動が活発になることです。委員会では今後、さまざまな支援策を具体化していく計画でおりますので、よろしくお願いいたします。

近畿ブロック所属理事活動報告（2）

雨森 正記（医療法人社団弓削メディカルクリニック／滋賀県）

近畿ブロックの皆様こんにちは。生涯教育委員会では、会員の皆様の日々の診療にいかせる内容の講習会を企画しております。毎年恒例の春秋の生涯教育セミナーに加え昨年度より生涯教育 Hands-on セミナーという一つの項目にしぼって1日で学習していただくセミナーも始めました。

今年度は春は7月7日に名古屋市で、秋は11月16、17日に大阪科学技術センターで開催予定です。特に秋のセミナーは近畿ブロックの地元での開催予定であり、皆様にご参加いただき盛り上げていただきますように切にお願いいたします



また生涯教育 Hands-on セミナーは小児科、産婦人科、耳鼻科、整形外科などの実用的な知識、手技の講座を企画しております。開催日時、内容については、学会誌の折り込み、学会ホームページ、会員のメーリングリストなどを通じてお知らせいたします。奮ってご参加いただきますようお願いいたします

近畿ブロック所属理事活動報告（3）

大島 民旗（ファミリークリニックなごみ／大阪市淀川区）

プログラム運営・FD委員会の副委員長として活動しています。新専門医制度を見越した、日本プライマリ・ケア連合学会の家庭医後期研修プログラム Ver.2 が議論されています。このニュースレターが届くのは、学会の学術大会終了後なので内容は決定していますが、3年間の家庭医療後期研修の中で従来は6ヶ月だった家庭医療研修期間が総合診療専門研修期間として18ヶ月、新たに救急研修3ヶ月が追加になります。当委員会はこの後期研修プログラムに認定されている核施設の質を向上し、後期研修医がスムーズに家庭医後期研修を修了できるようにサポートする委員会で、この間は指導医養成講習会の企画と実施、研修医手帳の検討、年次報告の作成と提出のお願いと結果報告、サイトビジット（後期研修プログラムの責任者・指導医が他のプログラムの見学に行き意見交換すること）実施の準備などを進めてきました。

また5月19日の仙台での学術大会の時に家庭医後期研修プログラム責任者会議を開催し、過去最高の126名の参加で、今後のプログラムの活性化につながる議論がされました。ちなみに、現在近畿ブロックには、後期研修プログラムが20あります。

地域支部・グループ研究活動に対する補助の公募案内

近畿ブロック支部では、府県単位での地域支部活動や、さまざまなグループ活動を積極的に支援するために、補助を行っています。申請用紙(事務局にご請求下さい)は簡便に作っておりますので、お気軽にご応募下さい。適宜改訂していきますので、より良いしくみにするためのご意見などもお願いいたします。

(1) 補助の要件

- 1) 主催者が日本プライマリ・ケア連合学会(以下、学会)の会員であること
- 2) 近畿ブロック支部の活動の趣旨に沿っていること。ただし、単なる懇親会は補助の対象外とする。
＜参考＞ 日本プライマリ・ケア連合学会 近畿ブロック支部会則
第3条 本会は、近畿ブロックにおけるプライマリ・ケアに関する学術の進歩、知識の普及ならびに人材の育成を図り、プライマリ・ケアの充実および向上に寄与することを目的とする。また、人々が健康な生活を営むことができるように、地域住民とのつながりを大切にしたい、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践及び学術活動を行うことを目的とする。
- 3) 学会本部や製薬会社など、他の主体からの補助や協賛と重複していないこと。
(大学や病院、医師会等の関係団体による支援は可)
- 4) 補助金の振り込みを受けるための銀行口座を有していること(個人名義で可)
- 5) 学会近畿ブロック支部から補助を受けていることについて、案内の文書に記載するか当日アナウンスを行うこと。可能であれば、学会への入会勧奨をすることが望ましい。

(2) 申請の手順

- 1) 申請にあたっては、所定の書式に準じた申請書を提出すること。開催前の申請で、その時点で記載及び添付不可能な項目がある場合は、会合終了後に遅滞なく当該事項について提出すること。尚、補助金の使途を明記し、対応する領収書のコピーを添付すること。
- 2) 申請書2枚のうちの1枚は、学会本部へ「専門医・認定医研修講座」又は「認定薬剤師研修講座」の企画書を提出している場合(すなわち専門医・認定医、認定薬剤師の単位を申請している場合)、そのコピーをもって代えることができる。
- 3) 報告書の提出は、近畿地方会での活動報告(一般演題)発表の形でも良い。近畿ブロック支部全体の情報共有や交流のため、地方会での発表を推奨する。

(3) 補助額

- 1) 基本活動補助費(同一主催者には年1回のみ)として、学会会員10名未満の会の場合1万円、学会会員10名以上の場合3万円を補助する。
- 2) 会合1回ごとのオプションとして、都道府県など一定地域(あるいは職種等の一定範囲)の全会員に案内を送付する場合、ブロック支部事務局より名簿を提供し、案内人数分の郵送料(80円/人)を補助する。
尚、名簿の提供は、郵送物発送のための必要最低限の形式とし、申請者は「当該勉強会の案内以外の目的で名簿情報を利用しない」旨の文言にサインするものとする。

支部からのご連絡

ブロック支部活動について、皆様からのご意見やご提案をお待ちしております!

又、会員の方の関係した講演会等の案内欄を設けております。掲載を希望される方は、

- 1) 日時、2) 会場、3) 講演会名、4) 講演会の対象者、5) 演題と演者、肩書き(主要なもの1つ)、6) 主催者(及び共催者)、7) 連絡・問い合わせ先、8) HP(あれば)、9) 事前申込の要否、10) 参加費用、11) 取得可能単位、を事務局までメール又はFAXでご連絡下さい。

尚、原稿締切日とニュースレター発行日は、2月20日締切→3月下旬発行、5月20日締切→6月下旬発行、8月20日締切→9月下旬発行、11月20日締切→12月下旬発行、となっております。

学会及び支部の精神に則り、会員に役立つ会合の情報提供をよろしくお願いいたします。